

ピラクロニル・プロピリスルフロン剤 ビクトリーZ (1キロ粒剤 / フロアブル)	取扱メーカー： 協友アグリ, サンケイ* 原体メーカー： 協友アグリ, 住友化学
成分： ピラクロニル2.0% (粒剤), 3.9% (フロアブル) プロピリスルフロン〔スルホニルウレア系〕0.90% (粒剤), 1.7% (フロアブル)	性状： 類白色細粒 (粒剤) 淡褐色水性和性粘稠懸濁液体 (フロアブル) 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

〈共通〉

- 2成分の一発処理除草剤。
- 高葉齢（3葉期）のノビエに有効である。
- 従来のスルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草（ホタルイ、コナギ、ミズアオイ、オモダカ等）に優れた効果を示す新規 ALS 阻害剤を含有する。
- 多年生難防除雑草（クログワイ、コウキヤガラ、シズイ等）に高い効果を示す。
- 効果の発現が非常に速く、長期間持続する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

〈共通〉

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失ないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布するように注意する。

雑草名	散布適期	
	粒剤	フロアブル
ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	3葉期まで	
ヒルムシロ	発生期まで	
セリ	再生前～再生始期まで	
エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで	
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで	
シズイ	草丈3cm まで	
アオミドロ・ 藻類による表 層はく離	発生前	

- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

【薬効・薬害等の注意】

〈共通〉

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、移植前に防除してから使用する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。
- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意する。

【安全対策上の注意】

〈共通〉

●藻類に影響を及ぼすので、使用时並びに使用後も注意。

〈粒剤〉

●無人ヘリコプター散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

〈フロアブル〉

●無人ヘリコプター滴下の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

【適用と使用法】

①ビクトリー Z1キログ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ シズイ ヒルムシロ セリ	移植時	1 kg	田植同時散布 機で施用	2回以内※
	エゾノサヤヌカグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ3葉期 但し、 収穫60日前まで		湛水散布又は 無人ヘリコプ ターによる散 布	
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫60日前まで			

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

※プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

②ビクトリーZフロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ エゾノサヤヌカグサ シズイ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後5日～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで	500 ml	原液湛水散布、 水口施用又は無 人ヘリコプター による滴下	1回 ※
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫60日前まで		原液湛水散布又 は無人ヘリコプ ターによる滴下	

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2回以内

※プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内